

第3回 金杉台中学校に関する地域説明会

令和元年11月30日 午前9時30分から
金杉台中学校 体育館

船橋市教育委員会 教育総務課・学務課ほか

本日の流れ(次第)

1. 開会

9時30分

2. 金杉台中学校に関する検討経過について

- (1)金杉台中学校に関する検討経過
- (2)保護者アンケート集計結果報告

3. 保護者アンケートの自由記述に対する回答

4. 質疑応答・意見交換

10時00分～11時00分 (約60分)

5. 閉会

11時00分

本日の配付資料

資料1 本資料

資料2 地域の自治会連合会との意見交換会の開催について

資料3 保護者アンケートの集計結果報告

資料4 現在の通学区域(学区)と見直し案

資料5 第2回金杉台中学校に関する地域説明会

(平成31年3月23日開催)でいただいた質問に対する回答

ご意見等記入用紙

※ご意見等記入用紙は、お帰りの際に出口付近の回収箱にお入れください。

金杉台中学校に関する検討経過

平成29年秋～

①金杉台中学校の現状についてのヒアリング

平成30年2月、7月、8月

②金杉台中学校の今後を考える会

意見はおおむね4つに集約
「小中一貫教育、通学区域の変更、存続、統合」について検討



平成30年11月

③金杉台中学校に関する保護者説明会

平成31年1月

④第1回金杉台中学校に関する地域説明会

平成31年3月

⑤第2回金杉台中学校に関する地域説明会



「統合」が望ましい
と考える、と説明
様々な意見、質問
をいただく

※詳細はホームページに掲載しています。アドレスは本資料の最後のページをご覧ください

金杉台中学校に関する検討経過

金杉台中学校存続を求める陳情の審議

(陳情署名計837人分)

第2回地域説明会(平成31年3月23日)で教育委員会あてに陳情署名を出席者が提出

【願意】

金杉台中学校を存続させることを前提として、住民と広く意見交換することを願います。



教育委員会会議7月定例会で審議



全会一致で不採択

金杉台中学校に関する検討経過

金杉台中学校存続を求める陳情の審議

【審議における意見】

- ・「金杉台中学校を存続させることを前提として」
⇒ 今の状態が続くのであれば、子供たちの教育環境を考えると、存続することが前提ということは困難
- ・「住民と広く意見交換することを願います。」
⇒ 今後、丁寧に地域や保護者の方々の意見を聞いて検討を進めるように



- ・ 町会・自治会との意見交換会の開催
- ・ 保護者の意見聴取（保護者アンケートの実施）

金杉台中学校に関する検討経過

地域の自治会連合会との意見交換会

町会・自治会の意見

○二和地区自治会連合会

状況は理解しており、教育委員会の考えている内容で進めていくことに了承する。

改めて意見交換会を開催するには及ばない。

○高根・金杉地区自治会連合会

意見交換会を9月28日(土)に開催(資料2)。

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告①

保護者アンケートの実施概要

実施期間 9月13日(金) ～ 9月27日(金)

対象者

○中学校

- ・金杉台中学校全生徒の保護者
- ・御滝中学校を選択して通学している生徒の保護者
(選択地域に居住する者及び通学指定校変更申請者)

○小学校

- ・金杉台小学校に在籍する4～6年生の保護者
- ・周辺小学校※のうち金杉台中学校を選択できる地域に居住する4～6年生の保護者

※周辺小学校:高根小、金杉小、三咲小、二和小、法典東小

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告②

回収結果

総計		対象者	回収数	回収率
		813	648	80%
中学校 計		353	234	66%
小学校 計		460	414	90%
在籍校別	金杉台中学校	57	37	65%
	御滝中学校	296	197	67%
	金杉台小学校	144	117	81%
	高根小学校	35	29	83%
	金杉小学校	80	72	90%
	三咲小学校	7	6	86%
	二和小学校	153	152	99%
	法典東小学校	41	38	93%

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告③

小学校対象 進学・選択する中学校(学年別)集計結果

進学・選択先	4年生	5年生	6年生	学年 未回答	計	%
金杉台中学校	15	12	14	0	41	10%
御滝中学校	102	94	86	2	284	69%
旭中学校	6	10	11	1	28	7%
私立中学校など (上記以外)	6	5	3	0	14	3%
わからない、これから 考える	13	13	5	0	31	7%
(未回答)	5	6	3	2	16	4%
計	147	140	122	5	414	100%

※小学校4～6年生の進学・選択する中学校について集計

※資料3 P.4

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告④

小学校対象 進学・選択する中学校(通学区域別)集計結果

進学・選択先	指定学区		選択地域		計	
	人	%	人	%	人	%
金杉台中学校	17	52%	24	8%	41	12%
御滝中学校	16	48%	268	84%	284	80%
旭中学校			28	9%	28	8%
計	33	100%	320	100%	353	100%

※指定学区は旭中学校の選択肢はない

※小学校4～6年生の進学・選択する中学校について、「金杉台中学校、御滝中学校、旭中学校」の回答のみを集計。(現時点で未定、私立中学校へ進学予定、未回答者数を除く。)

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑤

推計と集計結果を反映した推計

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	15	1	19	1	24	3	58
	3	1	25	1	15	1	19	3	59
	4	1	20	1	25	1	15	3	60
	5	1	15	1	20	1	25	3	60
	6	1	17	1	15	1	20	3	52
	7	1	19	1	17	1	15	3	51
	8	1	12	1	19	1	17	3	48
	9	1	13	1	12	1	19	3	44
	10	1	11	1	13	1	12	3	36
	11	1	7	1	11	1	13	3	31
	12	1	9	1	7	1	11	3	27
	13	1	9	1	9	1	7	3	25

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。



校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	14	1	19	1	24	3	57
	3	1	12	1	14	1	19	3	45
	4	1	15	1	12	1	14	3	41

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。
※令和2年度～4年度の1年生の生徒数を反映

※小学校4～6年生の進学・選択する中学校について、「金杉台中学校」の回答者数を反映。
(現時点で未定、私立中学校へ進学予定、未回答者数を除く。)

➡ 推計で1学年1学級が続くとみているが、アンケート結果からもその状況が続き、生徒数の増加はみられない

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑥

【金杉台中学校在籍】中学校選択理由・重視した点

(N= 37) ※複数回答

	回答数	%	上位5
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	29	78%	①
様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	19	51%	②
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	17	46%	③
意見や感想を発表する機会が多い	16	43%	④
自宅からの通学距離が近い	15	41%	⑤

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑦

【御滝中学校在籍】中学校選択理由・重視した点

(N= 196) ※複数回答

	回答数	%	上位5
部活動の選択肢が多い	115	59%	①
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	94	48%	②
自宅からの通学距離が近い	85	43%	③
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	75	38%	④
兄・姉が在籍している、していた	58	30%	⑤

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑧

【金杉台小学校在籍⇒金杉台中学校へ進学・選択】中学校選択理由

(N= 36) ※複数回答

	回答数	%	上位5
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる	27	75%	①
体育祭（運動会）や合唱祭など小学校との連携がある	24	67%	②
少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い	19	53%	③
自宅からの通学距離が近い	15	42%	④
少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる	12	33%	⑤

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑨

【金杉台小学校在籍⇒御滝中学校へ進学・選択】中学校選択理由

(N= 55) ※複数回答

	回答数	%	上位5
部活動の選択肢が多い	37	67%	①
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	32	58%	②
生徒が多いから、多様な意見や感想にふれられる機会が多い	25	45%	③
自宅からの通学距離が近い	23	42%	④
兄・姉が在籍している、していた	20	36%	⑤

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑩

【周辺小学校在籍⇒金杉台中学校へ進学・選択】中学校選択理由

(N= 5) ※複数回答

	複式回答	回答数	%	上位5
少人数のため、先生がきめ細かく見てくれる		4	80%	①
少人数のため、意見や感想を発表する機会が多い		4	80%	①
兄・姉が在籍している、していた		2	40%	③
少人数のため、様々な活動の場面で、リーダーや学校の代表を務める機会が期待できる		2	40%	③
自宅からの通学距離が近い	ほか3件	1	20%	⑤

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑪

【周辺小学校在籍⇒御滝中学校へ進学・選択】中学校選択理由

(N= 229) ※複数回答

	回答数	%	上位5
親しい友達と同じ中学校へ行きたい	159	69%	①
部活動の選択肢が多い	128	56%	②
自宅からの通学距離が近い	118	52%	③
兄・姉が在籍している、していた	85	37%	④
様々な活動の場面で、多くの仲間から刺激を受け、意欲が高まる	77	34%	⑤

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑫

自由記述の集計結果

中学校	79 件
金杉台中学校在籍	25 件
御滝中学校在籍	54 件
小学校	111 件
金杉台小学校在籍	48 件
高根小学校在籍	6 件
金杉小学校在籍	22 件
三咲小学校在籍	0 件
二和小学校在籍	28 件
法典東小学校在籍	7 件
計	190 件

小学校内訳(進学・選択先別)

小学校	111 件
金杉台中学校進学予定	23 件
御滝中学校進学予定	61 件
進学先未定ほか	27 件

金杉台中学校に関する検討経過

保護者アンケートの集計結果報告⑬

自由記述「統合に反対・不安」のご意見(集約)

- (1)金杉台中学校の少人数制の良さがなくなる
- (2)通学区域(学区)を見直したほうがいい
- (3)御滝中学校でこれ以上受け入れられるのか？
- (4)教員の目が届かなくなるのでは？
- (5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？
- (6)発達障害のグレーゾーンの子は御滝中学校では不安がある
- (7)金杉台中学校の部活動は御滝中学校でもできるのか？
- (8)学校がなくなったら跡地はどうなるのか？

保護者アンケート自由記述に対する回答

(1)金杉台中学校の少人数制の良さがなくなる

学校規模の基準

「学校教育法施行規則第41条及び第79条」

○国の標準とする学校規模

小・中学校ともに12学級以上18学級以下

ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りではない。

「船橋市立小・中学校の学校規模・学校配置に関する基本方針」

○船橋市の標準とする学校規模

小・中学校ともに12学級以上24学級以下

保護者アンケート自由記述に対する回答

(1)金杉台中学校の少人数制の良さがなくなる

学校規模の適正化


市の適正規模化に向けた基本方針

小規模校
(中学校)

3～11学級

- ①今後、過小規模となることが継続的に見込まれる場合
- ②単学級の学年が継続的に発生することが予想される場合
- ③複数の過小・小規模校が隣接している場合

⇒通学区域の変更・弾力化、統合等も視野に入れ、望ましい対応策について検討を始める

 この地域に、少人数制の小規模校を設置する考えはない

保護者アンケート自由記述に対する回答

(2)通学区域(学区)を見直したほうがいい

通学区域の設定

- 学校教育法施行令の規定により、市町村教育委員会は、就学予定者が就学すべき学校を指定することになっている。
- 船橋市教育委員会では、あらかじめ各学校の通学区域を設定して、その通学区域に基づき就学すべき学校を指定している。
- 通学区域は、学校規模や地理的要因、地域コミュニティとの関係などを総合的に勘案して学校ごとに設定している。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(2)通学区域(学区)を見直したほうがいい

通学区域制度の弾力的運用

- 文部省は平成9年に「通学区域制度の弾力的運用について」という通知をした。この通知では、教育上の影響等に留意しつつ、通学区域制度の弾力的運用に努めるよう、各市町村教育委員会において、地域の実情に即し、保護者の意向に十分配慮した多様な工夫を行うことが示されている。
- 船橋市教育委員会では、選択地域の設定や、通学指定校の変更等を行いながら通学区域制度を運用している。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(2)通学区域(学区)を見直したほうがいい

選択地域の設定・通学指定校の変更

○一部の地域については、地域の実情等により、通学区域以外の学校も選択できるようにしている。

※小学校19校(全54校)、中学校17校(全27校)に選択地域を設定(令和元年度)

○通学する学校は、通学区域に基づいて指定しているのですが、自由に選択することはできないが、あらかじめ定められた基準にあたる理由がある場合には、通学する学校を変更することができる。

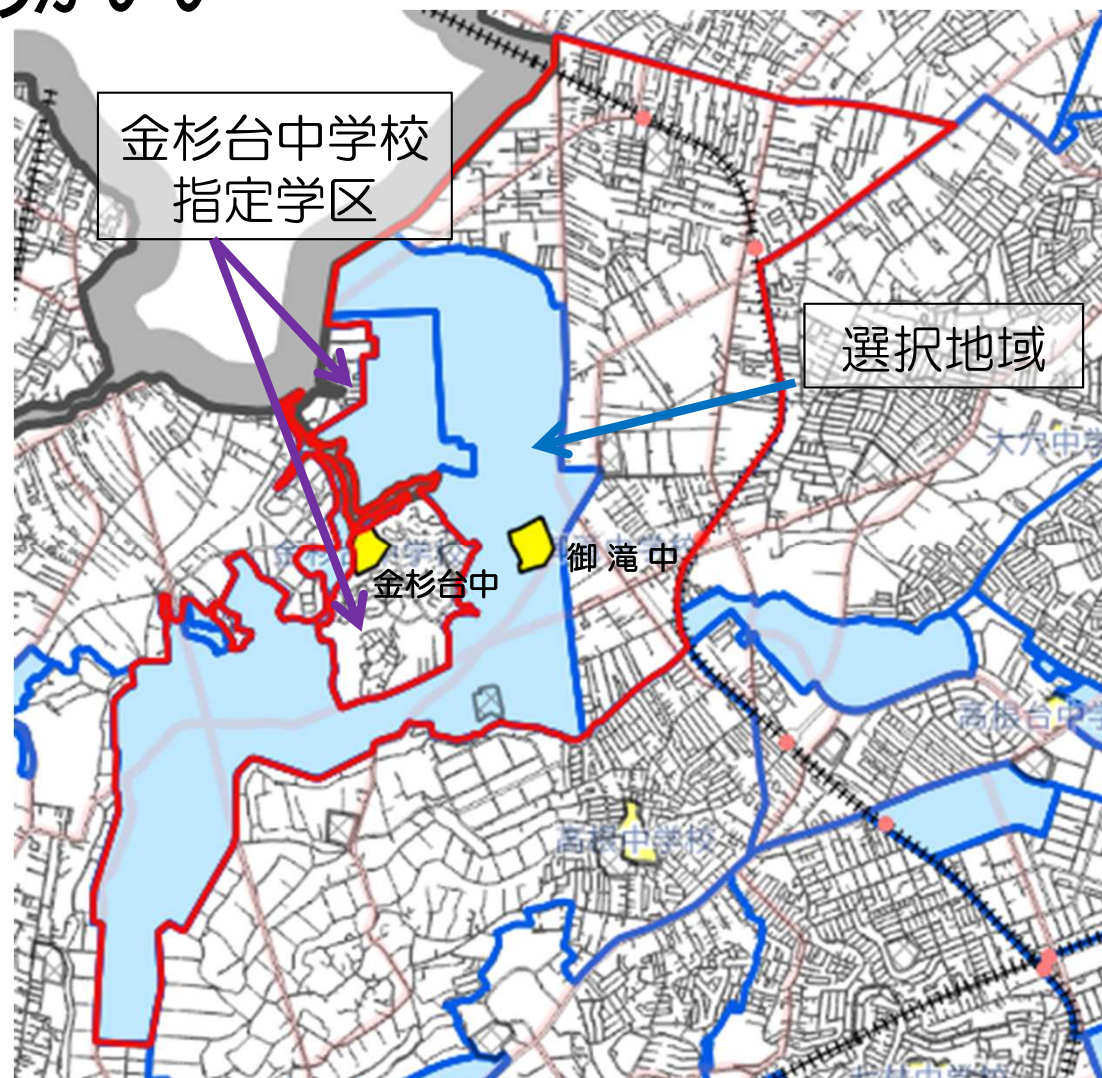
※指定校変更申請件数 886件(平成30年度)

保護者アンケート自由記述に対する回答

(2)通学区(学区)を見直したほうがいい

現在の通学区(学区)

- 平成21年度に初めて生徒数が100人を切り、全学年1学級になる。
- 生徒数の増加を期待して、平成22年度より御滝中学校の通学区の一部を金杉台中学校も選択できる地域とする。
- 一時期、学級数は増えたが、平成26年度からは全学年1学級が続いている。



保護者アンケート自由記述に対する回答

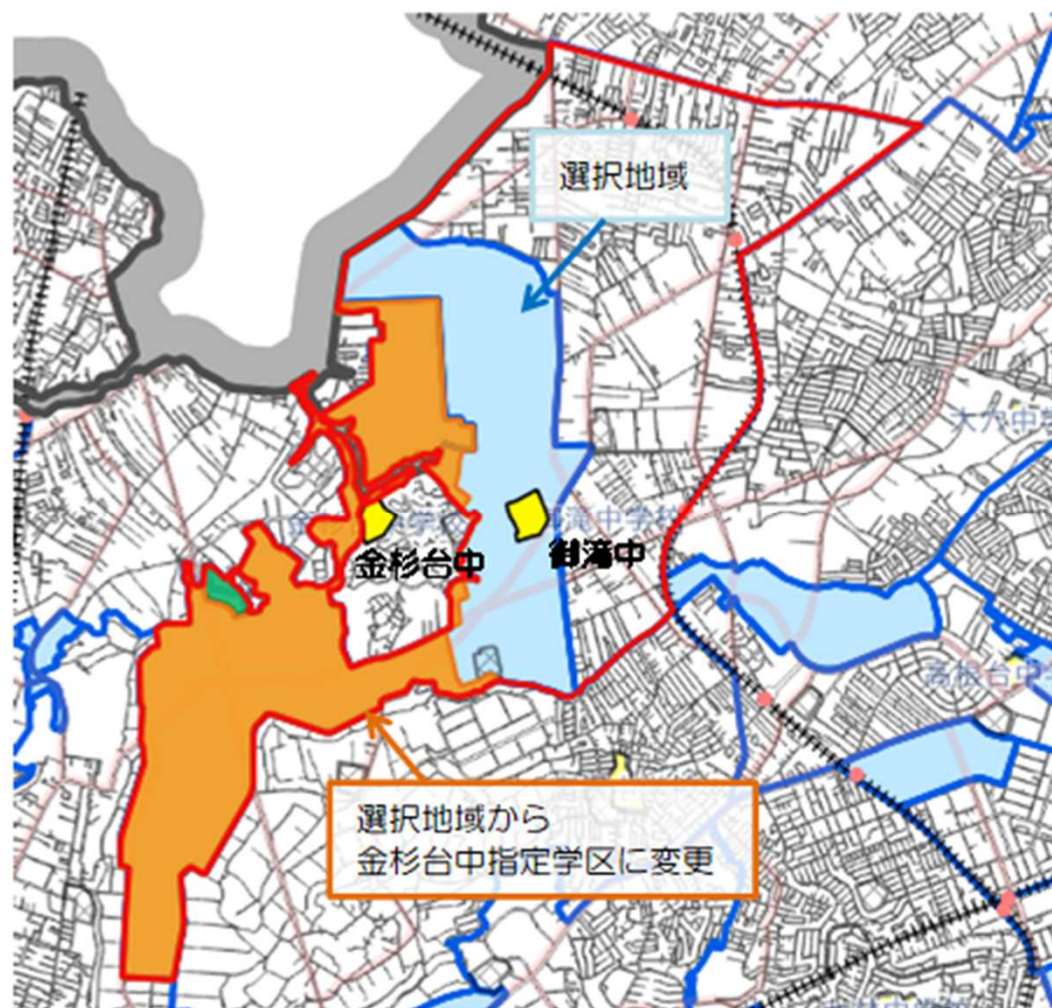
(2)通学区域(学区)を見直したほうがいい

通学区域見直し案 案①

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	15	1	19	1	24	3	58
	3	1	25	1	15	1	19	3	59
	4	2	48	1	25	1	15	4	88
	5	2	42	2	48	1	25	5	115
	6	2	45	2	42	2	48	6	135
	7	2	38	2	45	2	42	6	125
	8	2	41	1	38	2	45	5	124
	9	1	35	2	41	1	38	4	114
	10	2	38	1	35	2	41	5	114
	11	1	29	1	38	1	35	3	102
	12	1	31	1	29	1	38	3	98
	13	1	28	1	31	1	29	3	88

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

○一時的に学級数・生徒数は増えるが、その後減少に転じ、10年後には全学年単学級になる。



保護者アンケート自由記述に対する回答

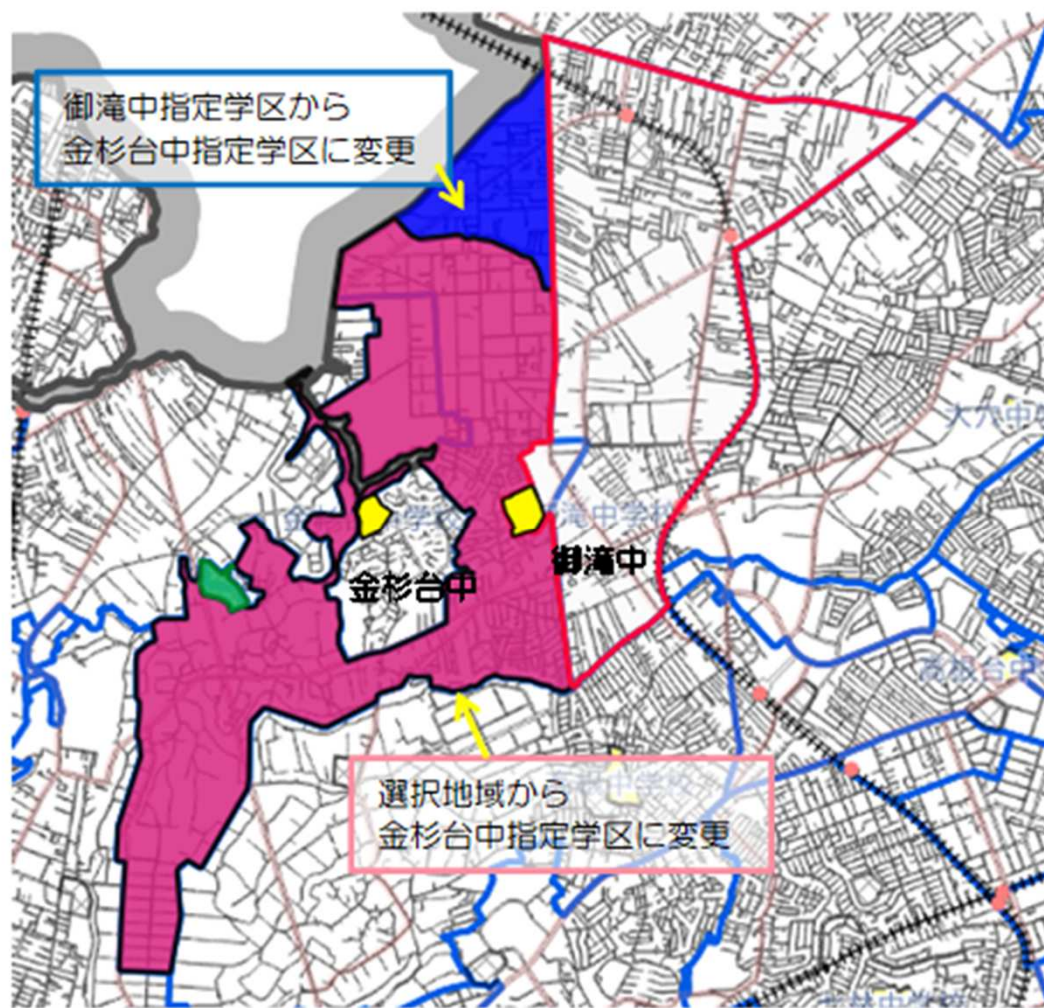
(2)通学区域(学区)を見直したほうがいい

通学区域見直し案 案②

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中	1	1	19	1	24	1	15	3	58
	2	1	15	1	19	1	24	3	58
	3	1	25	1	15	1	19	3	59
	4	4	130	1	25	1	15	6	170
	5	4	119	4	131	1	25	9	275
	6	4	119	4	120	4	131	12	370
	7	4	119	4	120	4	120	12	359
	8	3	100	4	120	4	120	11	340
	9	3	95	3	101	4	120	10	316
	10	3	98	3	96	3	101	9	295
	11	3	79	3	99	3	96	9	274
	12	3	93	3	79	3	99	9	271
	13	3	80	3	94	3	79	9	253

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

○一時的に学級数・生徒数は増えるが、その後減少に転じる。「御滝中学校を囲むような通学区域」、「通学距離が遠くなる」等デメリットあり。



保護者アンケート自由記述に対する回答

(3)御滝中学校でこれ以上受け入れられるのか？

御滝中学校の推計と施設の状況

○生徒数の推計は、転入、転出、転居等の社会増減のほか、最近の宅地開発の状況も推計に反映。

○御滝中学校については、令和5年くらいまで生徒数が増加するものと見込んでいるが、現在の施設での受け入れが可能(最大28学級まで)。

○教室等施設の状況

	普通教室数	特別教室数
御滝	28	10
金杉台	11	7

※普通教室:学級として使用可能な面積(約60㎡)を備えるスペース

※特別教室:音楽室、理科室、美術室、被服・調理室、金工・木工室

※御滝中学校はこのほかに特別支援学級の教室・作業室4室あり

保護者アンケート自由記述に対する回答

(3)御滝中学校でこれ以上受け入れられるのか？

統合となった場合の受け入れ(推計)

推計(令和元年5月1日作成)

校名	年度	1年		2年		3年		合計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
金杉台中 + 御滝中	1	10	327	8	297	7	264	25	888
	2	10	317	9	329	8	298	27	944
	3	10	322	9	319	9	330	28	971
	4	10	334	9	324	9	320	28	978
	5	10	322	9	336	9	325	28	983
	6	9	303	9	324	9	337	27	964
	7	9	305	9	305	9	325	27	935
	8	9	293	9	307	9	306	27	906
	9	8	262	8	295	9	308	25	865
	10	8	251	7	264	8	296	23	811
	11	7	229	7	253	7	265	21	747
	12	8	255	7	231	7	254	22	740
	13	7	223	7	257	7	232	21	712

○金杉台中学校の生徒数を御滝中学校に加算してみた場合でも、ピーク前後の年度においても受け入れ可能。

○日大のグラウンドについては、売却の予定がない旨、大学に確認した。

○金杉台団地については、現時点では、建て替え予定はないことをURに確認した。

令和元年度は5月1日現在の実数。他は各年度5月1日現在の推計値。

御滝中学校の特別支援学級数・生徒数は除く。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(4)教員の目が届かなくなるのでは？

職員配置等について①

(学級数及び教員配置の基準)

○市内公立小中学校は、千葉県が定めた基準により学級を編制し、教職員を配置。

- ・公立小中義務教育学校学級編制基準
- ・公立小中義務教育学校定員配置基準

○配置教職員数の内訳（令和元年5月1日現在）

	校長	教頭	教諭	講師	養護	事務	栄養	計
御滝	1	1	34	4	2	2	1	45
金杉台	1	1	6	1	1	1	1	12

保護者アンケート自由記述に対する回答

(4)教員の目が届かなくなるのでは？

職員配置等について②

- 教員の配置については、校長とのヒアリングを通して、年齢、教科定数、部活動等を考慮しながら、市内全体のバランスを見て配置している。
- 学級数が増えれば、県基準により配置される教員数は増えることから、より多くの先生の手で生徒を見ることができると考えている。
- 学習指導という面から見れば、御滝中学校は、同一教科を担当する教員が複数人在籍しているので、教員間での情報共有・工夫等による授業改善が図れる。
- 小規模校では、当該教科の免許を所有している教員の配置が困難な場合がある。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？

不登校について①

○学校の規模と不登校率に相関関係はない。

○市の不登校率に対し、御滝中学校はほぼ同じ、金杉台中学校は高い。

《参考》平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果「小・中学校における理由別長期欠席者数(不登校等)(中学校)」より

不登校者数(人) 不登校率(%)

国 (国公立)	119,687	3.65
------------	---------	------

※国、船橋市とも人数は増加傾向

船橋市	515	3.45
-----	-----	------

※本市の不登校率は国に比べ低い

保護者アンケート自由記述に対する回答

(5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？

不登校について②

- 中学校における不登校支援教室では、学級と同様に時間割を組み、不登校支援教室担当教員が中心となり、各教科担任が学習支援を行っている。
- 校内の全職員で支援教室の状況を共有し、支援に複数の教職員が関わる中で、生徒との人間関係を深めつつ、悩みや不安等の相談に耳を傾け、学校生活や友人との関わり、進路等について支援している。
- 不登校傾向は、友人関係をめぐる問題、学業の不振、進路に係る不安、教職員との関係をめぐる問題、及び家庭問題等、さまざまな理由が考えられる。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？

不登校について③

- 学校での取り組みとしては、生徒との良好な人間関係づくりに努めること、生徒が抱えている、学校生活での悩みや不安を取り除いてあげることが大切。
- 年に複数回行う教育相談、気になる生徒に対しての随時相談、スクールカウンセラーとの面談等、教育相談体制の充実を図っている。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？

不登校について④

○生徒理解に努めるとともに、生徒が自己肯定感や自己存在感を持つことができるよう、個々に応じた柔軟な対応を心掛けています。

例えば、①生徒一人ひとりの思いに寄り添って耳を傾ける。

②学校生活アンケートや日々の生活記録ノート等から、生徒が出す信号を見逃さない。

③教科担任制により複数の教職員が関わり、その良さを生かし、心配な生徒の情報共有を行い、見守りや声掛けを行う。

○必要に応じて、適応指導教室「ひまわり」や「青少年センター」等の関係機関と連携をし、個々にニーズに合わせて対応。

(御滝中学校及び金杉台中学校の対応)

○不登校傾向の生徒に対しての電話連絡・家庭訪問や、登校できても教室に入りづらい生徒に対しては、別室で勉強のフォロー等で対応。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？

いじめについて①

○学校の規模といじめの認知件数に相関関係はない。

○金杉台中学校及び御滝中学校ともに市内1校当たりの平均と比べて、いじめ認知件数は少なく、いじめが解決した割合は高い。

《参考》平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果「いじめの認知件数(中学校)」より

いじめ認知件数(人) 解消率(%)

国 (国公立)	97,704	82.8	※国、船橋市とも人数は増加傾向
船橋市	873	84.2	※本市の解消率は国に比べ高い

保護者アンケート自由記述に対する回答

(5)御滝中学校では、不登校やいじめが多いのでは？

いじめについて②

○いじめはどの学校でも、どの学級でも起こり得るもの。いじめを行ってはならないのは当然であり、いじめが起こらないよう、先生や生徒が一緒になって日頃から取り組んでいくことが大切。

○未然防止、早期発見、早期対応の大きく3つに分けて取り組んでいる。

- ①未然防止・・・教育課程上のあらゆる機会を使って、「いじめを許さない」学校づくりに努めるとともに、児童生徒がいじめについて主体的に考え、取り組む場を積極的に設定。
- ②早期発見・・・年間複数回のいじめアンケートの実施、教育相談体制の充実。
- ③早期対応・・・情報を学校内で共有し、組織的に迅速かつ丁寧な対応を心がけている。必要に応じて保護者や関係機関とも連携しながら対応。

○いじめ防止に対する各学校の取組については、各学校で策定された「学校いじめ防止基本方針」に明記され、公表している。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(6)発達障害のグレーゾーンの子は御滝中学校では不安がある

発達障害・グレーゾーンについて

- 特別支援教育の理念は、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服するために、適切な指導及び必要な支援を行うもの。
- 各学校における発達障害等の児童生徒への支援は、学級担任をはじめ、特別支援教育コーディネーターを中心に、校内で課題や対応について共通理解を図りながら、組織的に対応。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(7)金杉台中学校の部活動は御滝中学校でもできるのか？

部活動について

- 部活動は、指導者や活動場所などを考慮し、各学校の判断により活動を行っている。
- 統合が決定した場合、様々な事項を決定していく準備として、両校の職員も交えた協議の場において、部活動を継続できるように働きかけていく。

保護者アンケート自由記述に対する回答

(8)学校がなくなったら跡地はどうなるのか？

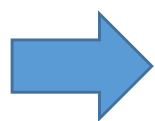
学校跡地について

- 統合となった場合には、一時避難所としての指定は継続する。
- 地域の活性化のために、施設の有効活用を検討する。

今後について

○第3回地域説明会の開催結果について、関係小・中学校を通じて保護者等へお知らせし、ご意見等をお寄せいただく。

○地域の方々には関係する町会・自治会を通じて、開催結果及び資料等を回覧によりお知らせし、ご意見等をお寄せいただく。



寄せられたご意見等を取りまとめ、令和2年1月以降、第4回地域説明会を開催予定

◆文部科学省ホームページ◆

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引
～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」



「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の
諸課題に関する調査結果」



◆船橋市ホームページ◆

「船橋市立小・中学校の学校規模・学校配置に関する基本方針について」
<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p055056.html>



「金杉台中学校に関する学校規模・学校配置の適正化の検討状況」
<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/002/p065270.html>



お問合せ先

船橋市教育委員会 教育総務課 企画係

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL:047-436-2802 FAX:047-436-2808

MAIL:kyosomu@city.funabashi.lg.jp